



2017年1月期（60期） 第2四半期決算説明会

2016年9月6日

ピジョン株式会社

(証券コード：7956)

代表取締役社長

山下 茂

<u>タイトル・目次</u>	1 - 2
<u>2017年1月期 第2四半期業績報告</u>	3 - 16
<u>2017年1月期 通期業績見込</u>	17 - 20
<u>企業価値向上に向けて</u>	21 - 33

2017年1月期 第2四半期 業績報告

決算ハイライト（連結）



(単位：百万円)	16/1 第2四半期		17/1 第2四半期	
	実績	前期比	実績	前期比
売上高	46,522	118.6%	46,302	99.5%
営業利益	7,733	129.2%	7,777	100.6%
経常利益	7,873	132.2%	7,671	97.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,282	129.7%	5,545	105.0%
純資産	50,758	127.0%	48,870	96.3%
総資産	76,282	120.5%	71,494	93.7%
EPS (円) *	44.11	129.7%	46.30	105.0%
BPS (円) *	414.15	126.9%	398.71	96.3%
ROA	21.2%	—	21.1%	—
ROE	22.1%	—	22.8%	—

※当社は、2015年5月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。指標は当該株式分割後の株式数により算出した値を記載しております。

※ROA：総資産経常利益率、ROE：自己資本当期純利益率、分母はいずれも期首・期末平均

比較損益（連結）



(単位：百万円)	16/1 第2四半期		17/1 第2四半期			摘 要
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	
売上高	46,522	100.0%	46,302	100.0%	99.5%	■ 主な販売費及び一般管理費の増減 人件費 ▲ 17百万円 発送配達費 ▲ 94百万円 業務委託料 ▲ 45百万円 販売促進費 ▲ 37百万円 ■ 主な営業外損益の増減 為替差損益 ▲ 91百万円
売上原価	24,720	53.1%	24,743	53.4%	100.1%	
売上総利益	21,801	46.9%	21,559	46.6%	98.9%	
販管費	14,067	30.3%	13,781	29.8%	98.0%	
営業利益	7,733	16.6%	7,777	16.8%	100.6%	
営業外損益	139	0.3%	▲106	—	—	
経常利益	7,873	16.9%	7,671	16.6%	97.4%	
特別損益	2	0.0%	52	0.1%	2400.8%	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	96	0.2%	110	0.2%	114.4%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,282	11.4%	5,545	12.0%	105.0%	

事業セグメント別売上高（連結）



(単位：百万円)	16/1 第2四半期				17/1 第2四半期				
	金額	構成比	総利益率	セグメント利益	金額	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	46,522	100.0%	46.9%	7,733	46,302	100.0%	99.5%	46.6%	7,777
国内ベビー・ママ事業	14,216	30.6%	44.5%	2,296	16,365	35.3%	115.1%	46.3%	3,212
子育て支援事業	3,374	7.3%	11.0%	70	3,652	7.9%	108.2%	10.4%	80
ヘルスケア・介護事業	3,466	7.5%	28.4%	127	3,537	7.6%	102.1%	31.7%	298
海外事業	11,980	25.8%	55.2%	2,625	11,079	23.9%	92.5%	56.3%	2,584
中国事業	16,600	35.7%	44.5%	4,798	13,741	29.7%	82.8%	43.7%	3,779
セグメント間取引消去	▲3,749	▲8.1%	—	—	▲2,722	▲5.9%	—	—	—
その他	633	1.4%	15.2%	73	647	1.4%	102.3%	15.7%	84

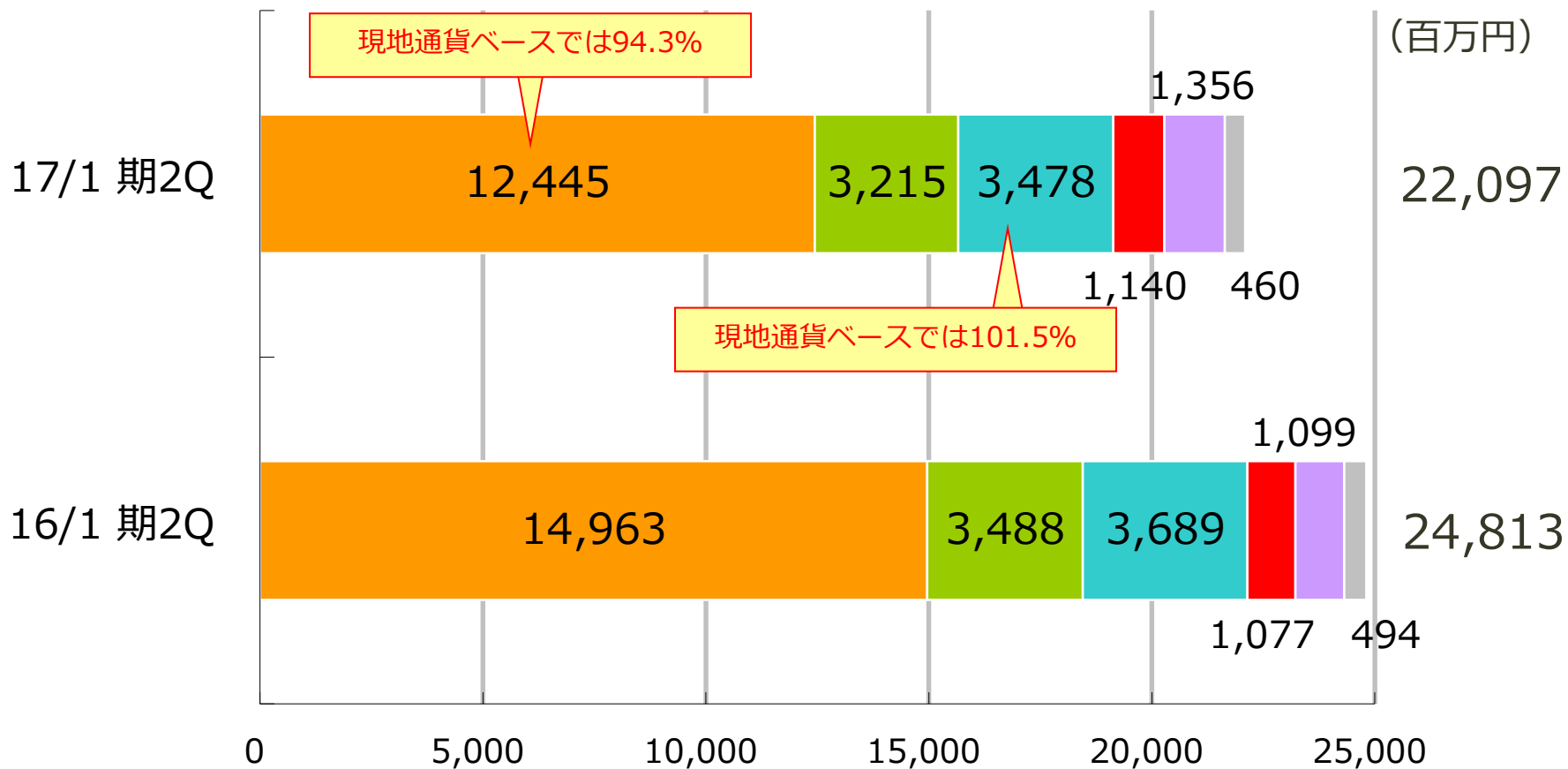
※連結計上額のセグメント利益は調整（全て配賦不能営業費用）を行い、連結損益計算書の営業利益となっております。

※連結計上額は、海外事業および中国事業のセグメント間取引消去後の金額となっております。

海外地域別 売上実績



■ 中国（香港含む）
 ■ その他アジア
 ■ 北米
 ■ 欧州
 ■ 中近東
 ■ その他地域



※【平均レート】 17/1 月期 : 1ドル111.69円 1元17.05円 ← 16/1月期 : 1ドル120.30円 1元19.33円

● 国内ベビー・ママ事業

- ベビーカー等大型商品の積極的販売・マーケティング施策の実行による事業拡大、市場シェア向上（目標金額シェア20%）
- 哺乳器・乳首のリニューアル等高付加価値商品の販売拡大、投入による収益性のさらなる向上

● 子育て支援事業

- 収益性の改善を目指した成長戦略・事業体制の見直し
- 保育人材の育成、教育等による事業品質の維持・向上と危機管理対策のさらなる充実

● ヘルスケア・介護事業

- 販売代理店との取組み強化等による販売拡大・事業成長の実現
- 事業運営体制の効率化等による収益性改善

● 海外事業（中国以外）

- 重点5カテゴリー(哺乳器・乳首、さく乳器、スキンケア、母乳パッド、おしゃぶり)の販売拡大
- 商品の内製化推進とそれに対応した設備投資による収益性の向上

【ランシノ】

- ・ ピジョングループの基幹商品である哺乳器・乳首の販売拡大
- ・ 現地法人設立と中国市場への本格参入
- ・ トルコ新工場開設による生産体制の整備強化
- ・ 欧州での事業拡大と体制整備・強化

【アジア】

- ・ インド事業のブランディング活動の継続・強化と事業拡大（単年度黒字化）
- ・ 輸出生産開始も含めたインド工場の稼働向上による収益性強化
- ・ ピジョンシンガポールを中心としたアジア各国のマーケティング活動の強化

● 中国事業

- 事業の成長トレンドの継続（現地通貨ベースで前期比111%）と収益性のさらなる向上
- EC販売構成の急拡大に対応した戦略・施策（販促）の強化（日本商品のEC販売開始）
- 紙おむつは、店頭ラウンド（ローラー作戦）の継続・拡大による販売拡大

● 大型商品

- ベビーカー『Runfee ef (ランフィ エフ)』新色 2色を追加

● 新商品

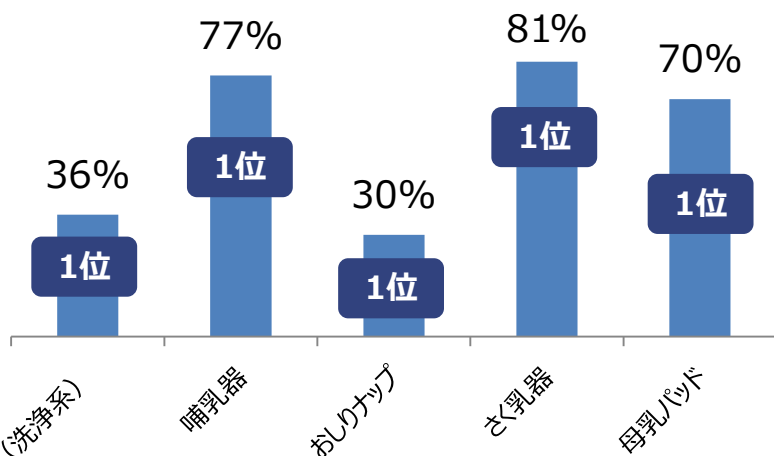
- 『はじめてのかんたんおはし』 洗濯洗剤『ピュアシリーズ』 『母乳実感デザインびん』 リニューアル他



● ダイレクト・コミュニケーション

- プレママクラス (マタニティーイベント) 12回開催。参加総数700名
- 医療従事者セミナー7回開催。参加総数820名

2016年上半期マーケットシェア



2016年秋 (下期) 発売の主な新商品



さらっと油が落ちる
はじめてエプロン



耳チビオン

※インテージPOS全国BS・DRG合算 (単月) 拡大推計値より
※哺乳器・さく乳器・母乳パッドは金額シェア。その他の商品は数量シェア

子育て支援事業

● ピジョンハーツ

- 【新規運営受託】事業所内保育施設2ヶ所 → 合計188施設（国立病院機構等含む）

ヘルスケア・介護事業



● ピジョンタヒラ

- 主力商品の介護用『おしりふき』『スキンケア』が販売好調
- 小売ルートでの販売が好調

● ピジョン真中

- 栃木市紙おむつ給付業務を6月より開始



介護用「おしりふき」



保育施設開所式（2企業様）

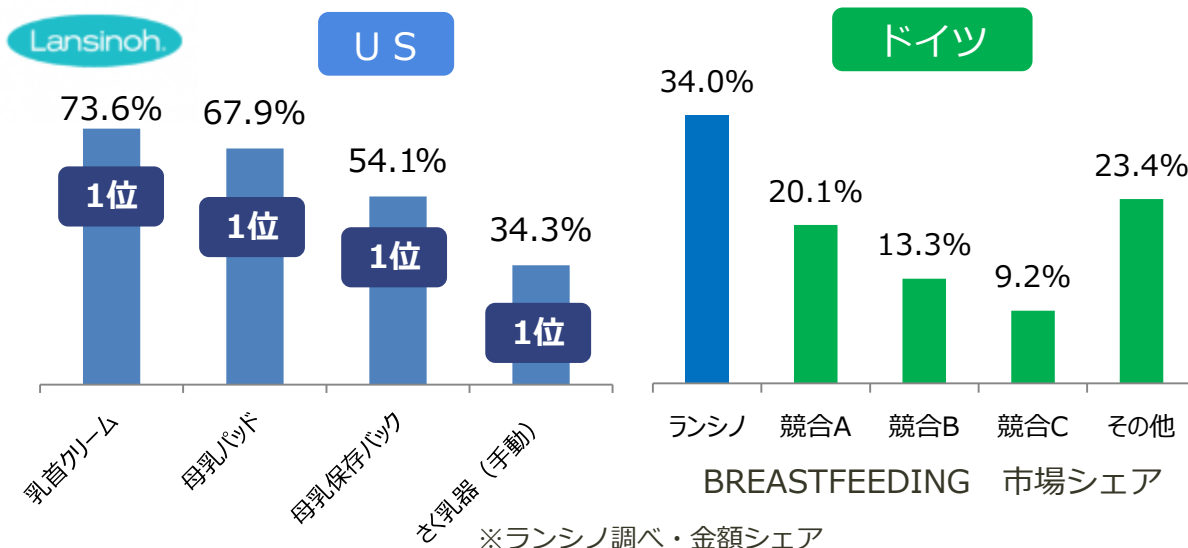
● 欧米市場

- 北米 : 乳首クリーム、母乳パッド、母乳保存バッグ、さく乳器（手動）で引き続きNo.1シェアを維持。
- 欧州 : ドイツでもNo.1シェアを維持。
トルコの新工場建設は予定通り進行（2017年1月稼働予定）

● アジア市場

- インド : 9月よりインド工場生産商品の国外輸出開始予定
- シンガポール : 管轄地域でのブランド力強化施策を推進
- ランシノ中国 : 好調なスタート（計画比154%）

2016年上半期マーケットシェア



ランシノ中国

133病院でサンプリング開始



● 商品販売状況について

- 哺乳器・乳首の販売は順調
- 紙おむつ : ローラー作戦により売上増 (前期比180%)
- Eコマースでの取り組み強化 (下半期より本格開始)

● ブランディング、母乳育児啓発活動

- 新デザインのピジョンコーナーの設置を推進し、ブランディング活動を更に強化
- 国家衛生部と共同で進める母乳育児啓発活動は継続して実施
⇒母乳育児相談室の設置、学会発表、育児セミナー等



ローラー作戦店舗



学会発表



病産院での育児セミナー

<参考> 連結貸借対照表 (ハイライト)

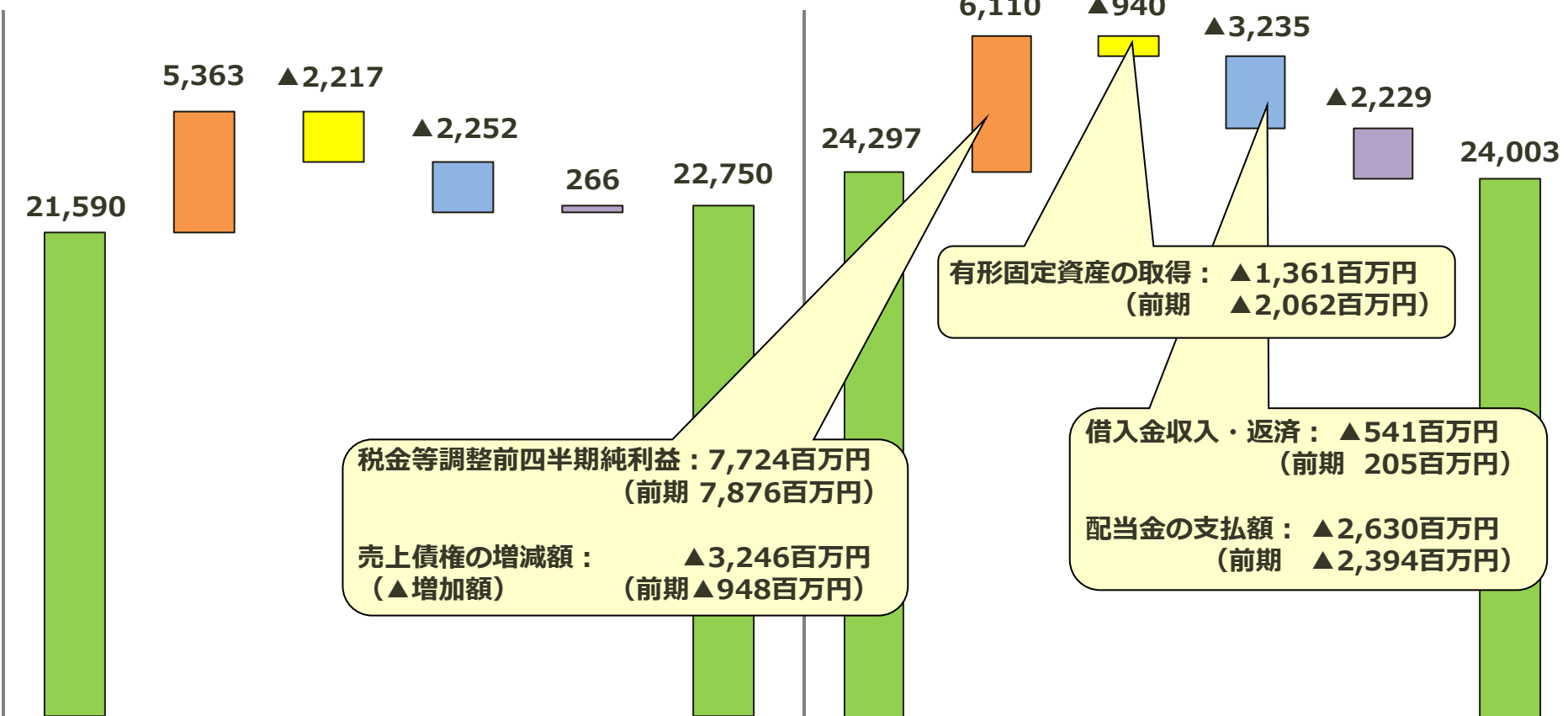


(単位：百万円)	16/1 期末	17/1 第2四半期		
	金額	金額	前期末比 (金額)	前期末比 (%)
現金及び預金	24,297	24,003	▲294	98.8%
受取手形及び売掛金	13,870	15,242	1,371	109.9%
たな卸資産	8,859	7,660	▲1,198	86.5%
支払手形及び買掛金	3,743	4,462	718	119.2%
電子記録債務	1,623	2,194	571	135.2%
借入金	6,308	5,617	▲691	89.0%
純資産	50,792	48,870	▲1,922	96.2%
総資産	73,943	71,494	▲2,449	96.7%
自己資本比率	67.0%	66.8%	-	▲0.2pt

<参考> 連結キャッシュフロー比較



(百万円)



'16/1期 (59期2Q)					
期首残高	営業活動	投資活動	財務活動	換算差額等	期末残高
21,590	5,363	▲ 2,217	▲ 2,252	266	22,750

'17/1期 (60期2Q)					
期首残高	営業活動	投資活動	財務活動	換算差額等	期末残高
24,297	6,110	▲ 940	▲ 3,235	▲ 2,229	24,003

<参考> 投資関連指標等（連結）

(単位：百万円)	16/1 期		17/1 期	
	中間期 (実績)	通期 (実績)	中間期 (実績)	通期 (見込)
設備投資額（※1）	1,610	2,639	1,164	3,165
減価償却費（有形固定資産）	1,018	2,133	1,014	2,115
研究開発費（※2）	1,181	2,263	1,085	2,200

※1 有形固定資産取得（計上額）

※2 人件費を含めた研究開発活動にかかる費用の総額

2017年1月期 通期業績見込

2017年1月期 経営計画（連結）



(単位：百万円)	16/1 期			17/1 期（修正計画）		
	実績	構成比	前期比	修正計画	構成比	前期比
売上高	92,209	100.0%	109.6%	93,500	100.0%	101.4%
営業利益	14,521	15.7%	113.6%	15,000	16.0%	103.3%
経常利益	15,080	16.4%	113.4%	14,900	15.9%	98.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,197	11.1%	120.7%	10,400	11.1%	102.0%
純資産	50,792	—	107.4%	51,668	—	101.7%
総資産	73,943	—	102.2%	79,300	—	107.2%
EPS（円）*	85.15	—	120.7%	86.84	—	102.0%
BPS（円）*	413.88	—	107.4%	419.86	—	101.4%
ROA	20.6%	—	—	19.5%	—	—
ROE	21.3%	—	—	21.0%	—	—

※【想定レート】17/1 月期：1ドル106.18円 1元16.11円 ← 【実績レート】16/1月期：1ドル121.10円 1元19.22円

※当社は、2015年5月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。指標は当該株式分割後の株式数により算出した値を記載しております。

※ROA：総資産経常利益率、ROE：自己資本当期純利益率、分母はいずれも期首・期末平均

事業セグメント別売上計画（連結）



(単位：百万円)	16/1 期				17/1 期（修正計画）				
	金額	構成比	総利益率	セグメント利益	金額	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	92,209	100.0%	47.0%	14,521	93,500	100.0%	101.4%	46.7%	15,000
国内ベビー・ママ事業	28,053	30.4%	44.4%	4,383	31,600	33.8%	112.6%	45.3%	5,522
子育て支援事業	6,757	7.3%	10.7%	148	7,330	7.8%	108.5%	10.7%	211
ヘルスケア・介護事業	6,499	7.0%	28.3%	140	7,020	7.5%	108.0%	30.6%	407
海外事業	25,234	27.4%	55.4%	5,579	22,280	23.8%	88.3%	56.2%	5,064
中国事業	31,688	34.4%	44.6%	8,586	29,980	32.1%	94.6%	46.0%	8,669
セグメント間取引消去	▲7,306	▲7.9%	—	—	▲5,910	▲6.3%	—	—	—
その他	1,283	1.4%	15.4%	152	1,200	1.3%	93.5%	12.4%	114

※連結計上額のセグメント利益は調整（全て配賦不能営業費用）を行い、連結損益計算書の営業利益となっております。

※連結計上額は、海外事業および中国事業のセグメント間取引消去後の金額となっております。

【第5次中期経営計画での株主還元指標】

各営業期における前期比増配および総還元性向45～50%程度を目標とし、
自社株買いも含め、機動的に株主還元の拡充を行う。

配当の状況	14/1期		15/1期		16/1期		17/1期	
	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (予定)	期末 (予想)
1株あたり 配当金(円)	66 (11)	55 (18.3)	45 (15)	60 (20)	20	22	25 (記念配3円含)	25 (記念配3円含)
配当性向	50.4%		49.6%		49.3%		57.6%	

※当社は、2013年8月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
また、2015年5月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
上記1株あたり配当金のうち括弧内の数値は、当該株式分割後の株式数により換算した参考値を記載しております。

<参考> 投資関連指標

(単位：百万円)	15/1期		16/1期		17/1期	
	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	通期 (実績)	中間 (実績)	通期 (見込)
設備投資額(※)	1,672	3,204	1,610	2,639	1,164	3,165
減価償却費 (有形固定資産)	780	1,705	1,018	2,133	1,014	2,115

※ 有形固定資産取得(計上額)

企業価値向上に向けて



Pigeon Wayは、私たちの“心”と“行動”の拠り所であり、すべての活動の基本となる考え方です。

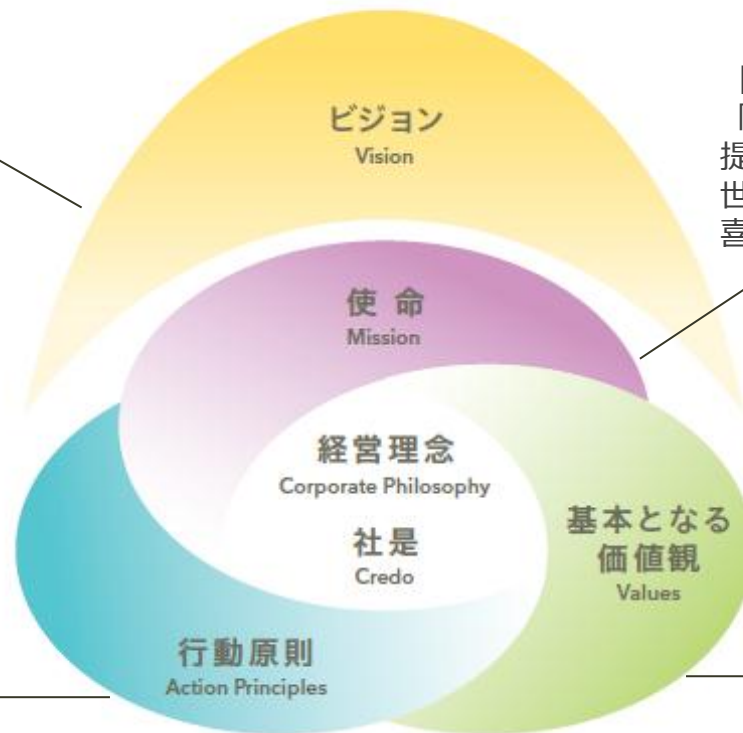
Pigeon Way

【ビジョン】

世界中の赤ちゃんにご家族に
最も信頼される育児用品メーカー
Global Number ONE

【使命】

「愛」を製品やサービスの形にして
提供することによって、
世界中の赤ちゃんにご家族に
喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと



【行動原則】

- ・迅速さ
- ・瞳の中にはいつも消費者
- ・強い個人による
グローバルコラボレーション
- ・主体性と論理的な仕事の仕方
- ・積極的な改善・改革志向

【基本となる価値観】

- ・誠実
- ・コミュニケーション・納得・信頼
- ・熱意

経営理念「愛」 社是「愛を生むは愛のみ」

世界各国でPigeon Wayミーティングを開催



India

Singapore

Thailand

China



実際の実績事例をHPに掲載



当社の社員全員が「Pigeon Way」を常に意識し日々活動しております。
その活動の成果は、社内で共有する取組みも実施しておりますが、ここでは、当社社員の
想いが込められた「My Pigeon Way Story」をいくつかご紹介いたします。

| ストーリーを見る



URL://www.pigeon.co.jp/pigeonway/

【ブランドの定義】

ブランドとは、消費者とのコミュニケーション、
いわば**消費者との心と心の結びつき**を意味するもので、
消費者にとってブランドは、メーカーの「**約束**」
製品、サービスの送り手である当社にとっては、
あらゆる場面で、その理念を明確に表現し、
決して消費者の期待を裏切らず、
それを日々繰り返すことにより**消費者から得る「信頼」**の証し

母乳育児セミナー



Singapore



Indonesia



Malaysia



Russia

ピジョンコーナー



Middle East



Indonesia



India

授乳室



Vietnam

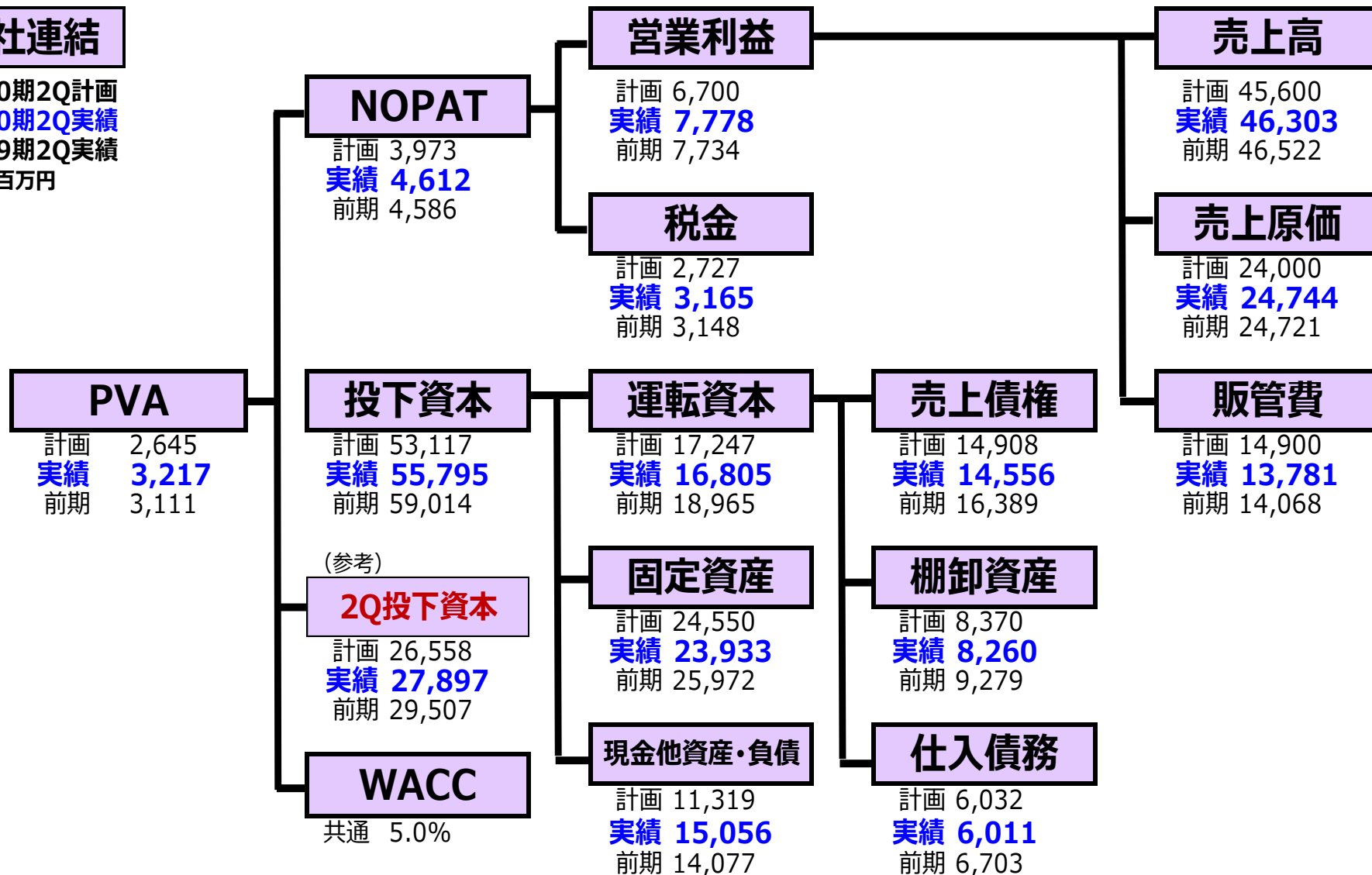
病産院セミナー



Middle East

全社連結

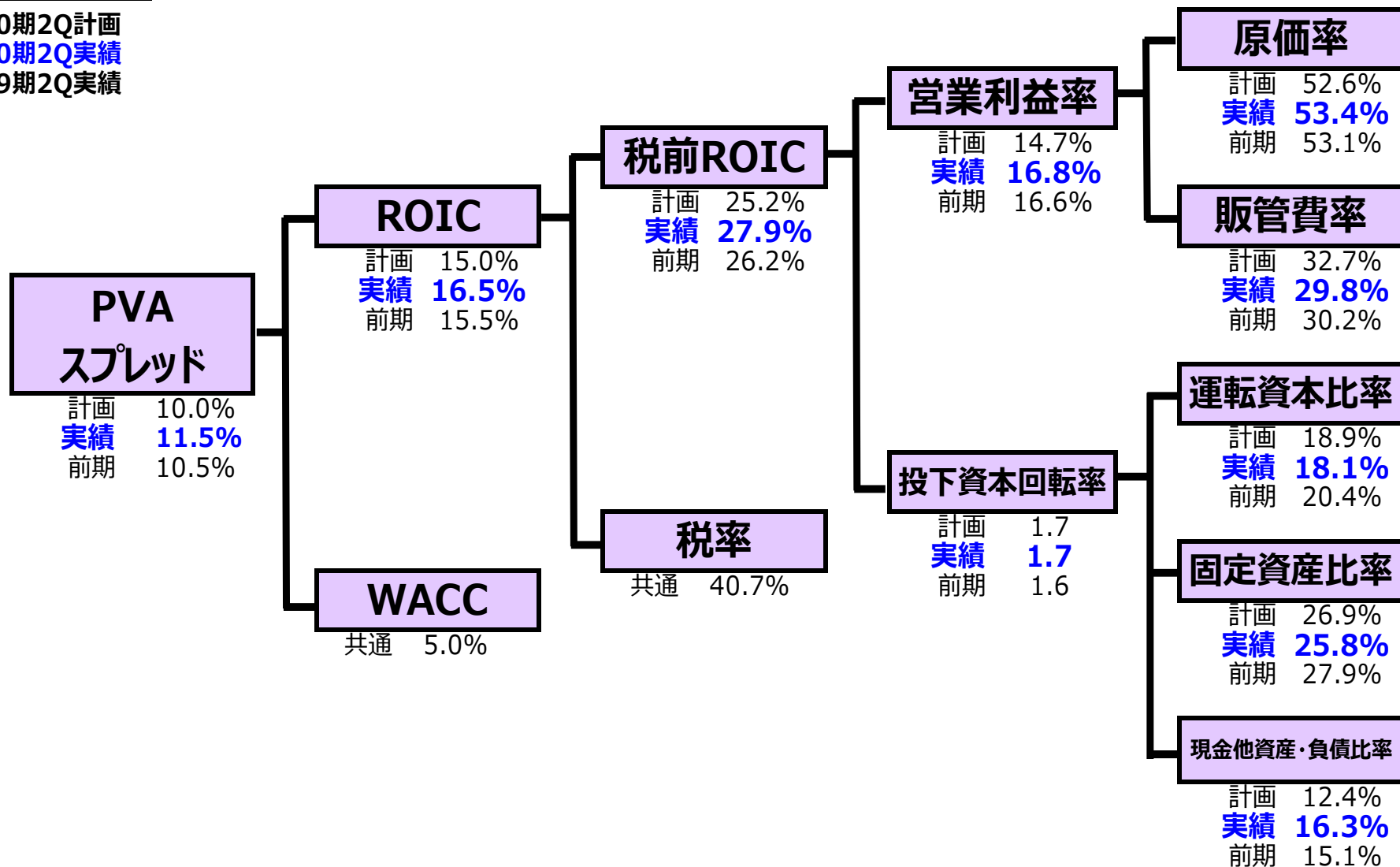
上：60期2Q計画
 中：60期2Q実績
 下：59期2Q実績
 単位：百万円



※PVA算出の際、B/S項目の各数値は期首・期末平均とし、値を1/2に調整して換算しています。

全社連結

上：60期2Q計画
 中：60期2Q実績
 下：59期2Q実績



全社連結

上：60期2Q計画
 中：60期2Q実績
 下：59期2Q実績
 単位：百万円

運転資本

計画 17,247
実績 16,805
 前期 18,965

売上債権

計画 14,908
実績 14,556
 前期 16,389

棚卸資産

計画 8,370
実績 8,260
 前期 9,279

仕入債務

計画 6,032
実績 6,011
 前期 6,703

CCC

計画 77.4
実績 74.0
 前期 83.3

売上債権回転日数

計画 59.7
実績 57.4
 前期 64.3

棚卸資産回転日数

計画 63.6
実績 60.9
 前期 68.5

仕入債務回転日数

計画 45.9
実績 44.3
 前期 49.5

※CCC算出の際、B/S項目の各数値は期首・期末平均とし、値を1/2に調整して換算しています。

ピジョンだからやる女性活躍のための3つの取り組み

昨年の
男性社員育児休暇
(1か月)取得率：
100%

支援制度

- 在宅勤務制度
- 育児のためのフレキシブルタイム制度
- 看護休暇
- 経済的支援
- 妊活に対する支援（ライフスタイル休暇）
- 待機児童対策

上司・社員の
意識

- サクセッションプラン
（各MGの後継者育成計画）
- ダイバーシティマネジメントノウハウ研修
- 上司もいっしょに育児面談
- 男性の育児参加促進

女性の気持ち

配偶者の協力

- ライフイベントを迎える女性向け
キャリア研修
- ママ社員 キャリア研修
- ダイバーシティ講演会
- 女性経営者育成 大越塾
- 外部団体経営者養成塾派遣
- メンター制度

新入社員の中の女性

42.6%

直近10年での新入社員の
女性の割合

管理職の中の女性

20.0%

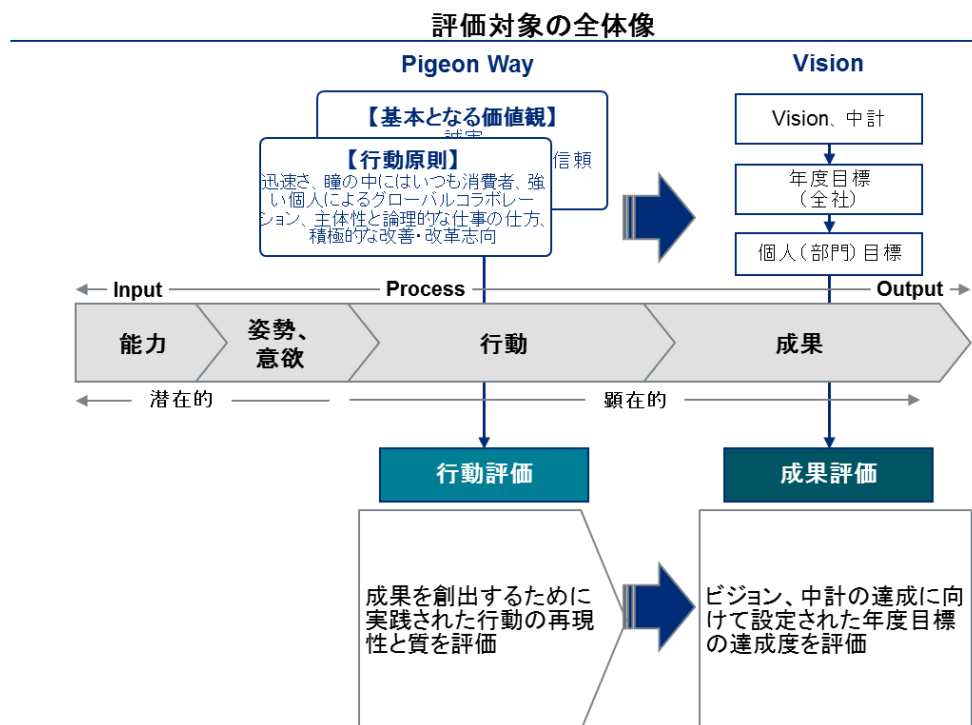
管理職：マネージャー～執行役員

【グローバル目標管理制度の導入】

業績（個人）目標とPigeon Wayの行動原則を基にした行動評価をプラットフォームとして導入

【Global Leadership Program】

アメリカ、イギリス、トルコ、インド、シンガポール、タイ、中国、韓国、日本の各拠点から参加



本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。